



自分の花を咲かせる3学期に

令和6年、西暦2024年の幕が開き、日本中が新たな希望に満ちていた1月1日、能登半島地震という未曾有の災害が発生しました。被害の全貌はいまだつかめず、被災地では言葉では言い表せないほどの大変な状況が続いています。この地震で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災地の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

1月9日（火）に行われた3学期の始業式では、地震で犠牲になられた方々のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げた後、3学期は学校の合い言葉である「なりたい自分になる」ために、1年間の総仕上げを行い、一人一人が心の中に自分だけの花を咲かせようという話をしました（詳細は下に載せています）。来るべき3月のゴールの日には、この一年の確かな歩みを基にした成就感と、次の学年への期待感を抱かせたいと願っています。

保護者並びに地域の皆様には、いつも様々な形で本校への温かなお力添えをいただき誠にありがとうございます。今年も全校児童230名の子どもたちの健やかな成長と幸せを願って、職員24名で力を合わせて教育活動を推進して参ります。本年も変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



～前略～

新しい年を迎えたばかりの1月1日、楽しいはずの正月が一瞬で吹き飛んでしまうような能登半島地震が起きました。この地震により、石川県能登地方を中心に大きな被害が発生しました。地震で亡くなられた方々、被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。今から全校の皆さんと黙祷を捧げ、この地震により尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。（黙祷）

この地震は、私たちに自然の脅威を改めて思い知らせる出来事でした。私たちは、いつ、どこで、どんな災害に見舞われるか分かりません。そのために、防災意識を高め、備えておくことが大切です。そして、今、私たちにできることは被災地の復興を心から願うことです。復興には、時間と多くの人の力が必要です。被災された方々に寄り添うことで、被災された方々の心が少しでも軽くなることを願っています。被災地の皆様に届くように、一日も早い復興をみんなで祈りましょう。

さて、話は変わりますが、この数字は何かわかりますか？（「51」を提示）そうです。3学期に登校してくる日数です（1～4年生は50日）。6年生は一足早く卒業を迎えるので、更に少なく48日しかありません。3学期はとても短いのです。でも、みなさんにとっては、大切な学期になります。それは、今の学年のまとめをして次の学年への準備をするときだからです。

特に、6年生は小学校最後の日々を過ごすことになります。これまで、学校のリーダーとして、下級生のお手本になる行動や役割を果たしてくれました。3月の卒業式に向け、更にみんなの心を一つにして最後の総仕上げをしてほしいと思います。また、1年生から5年生の皆さんも、6年生が安心して卒業できるように、この51日間でさらにたくましく成長してくれることを期待しています。（この後、校長の「なりたい自分」の姿とそのための具体的な取組を紹介） **～中略～**

このように、なりたい自分の姿が決まったら、そのために何をすべきなのか考えること、そして実行することが大切です。皆さんも4月や2学期の初めになりたい自分の姿を決めたと思います。大事なことはそのために何を頑張るかを決めることです。今までの自分を振り返り、まだ足りないことも見付けながら、3学期のめあてを決めてほしいと思います。

そして、なりたい自分になるために、こつこつ努力をしながら、3月には自分の心の中にきれいな花を咲かせてほしいと願っています。

大谷翔平選手ありがとう！一緒に野球しようぜ！！

米メジャーリーグベースボール（MLB）のドジャースに所属する大谷翔平選手が日本国内約2万校の全小学校に各3つのジュニア用グローブ約6万個を寄贈すると11月に発表して以来、全国の小学生たちはワクワクしながらその日が来るのを待っていました。そして、ついに念願のグローブが稲佐小学校にも届く日がきました。その日は残念ながら冬休み期間中でしたので、大谷選手からのクリスマスプレゼントとはなりませんでしたが、3学期の始業式の日には素敵なお年玉として全校児童の前でお披露目をする事ができました。

3つのグローブを紹介すると、子どもたちは大歓声を上げながらグローブに目が釘付けになりました。早くグローブに触れたいという子どもたちの願いを受け、早速、グローブの使い始めとして児童代表の6年生二人がキャッチボールを行いました（この様子はNBCニュースでも紹介されました）。緊張しながらも憧れの大谷選手のグローブに触れたその表情は喜びにあふれていました。このグローブは早速1月10日から1年1組を皮切りに1日交替で全学級を回し、一人一人が直接手に取ったり、キャッチボールをしたりできるようにしていきます。大谷選手のメッセージ「野球しようぜ」の思いに触れながら、これから野球やスポーツがさらに好きになってほしいと思います。

稲佐小学校の合い言葉は「なりたい自分になる」です。大谷選手は世界一のメジャーリーガーになるという「なりたい自分」になるために、日夜努力を積み重ねながら、二刀流で大活躍する中で自分の夢を叶えました。稲佐っ子も大谷選手に負けないよう、「なりたい自分」になるために、大きな夢や憧れを抱きながらコツコツ努力を積み重ねられる人になってほしいと願っています。



書き初め大会で気持ちも新たに

1月10日（水）、3年生の子どもたちが新年の気持ちを高め字の上達を願い、恒例の書き初めを行いました。ワークスペースに広げた条幅紙に、集中しながら書き上げた字はダイナミックで見ごたえがありました。他の学年も今後実施を予定しており、皆で日本の恒例行事に触れる中で字の上達を目指したいと思います。

